

# 第3学年1組 算数科学習指導案

令和7年11月6日（木） 場所 3年生教室

## 1 単元 間の数 <2時間完了>

### 2 目標

- (1) 集合数と順序数の関係および端点の数と間の数の関係を理解し、順序や間の数の問題を○や線分図に表して解くことができる。 (知識及び技能)
- (2) 並んだものの数を簡潔な図に表し、順序や間の数について考えたり説明したりできる。 (思考力、判断力、表現力等)
- (3) 並んだものの数を簡潔な図に表すよさに気付き、間の数や間隔について考えようとしている。 (学びに向かう力、人間性等)

### 3 構想

本学級の多くの児童は単純な計算や、問題文の中に出てくる数字を形式的に組み合わせて立式をすることができる。「あまりのあるわり算」では、九九を用いて商を立て、計算によってあまりを求めることはできていた。しかし立式できても、題意に沿ってあまりを切り上げて処理する場合と、あまりを切り捨てて処理する場合を適切に考えることが難しい様子が見られた。その理由としては、問題文を正確に読み取って題意を理解し、立式に至った根拠や導き出した答えが表す意味を、自分の言葉で説明することができないからであることが考えられる。

本単元は2時間構成になっている。第1時では、一列に並んでいる特定の2人の位置の順序数から2人の間にいる人数を考える。第2時では、一列に並んだ「人（木）の数」とその「間の数」の関係から両端の長さを求める植木算を学習する。単元を通して、実際に友達と等間隔に並んで両端の長さを求めたり、人形等の具体物や半具体物を並べて考えたりする活動から答えを導き出す。その中で○など図をかいて考える方法に気付かせたい。そして答えに至った考えを図に表すことで、「図を使って考えたことを説明する」活動に繋げていきたい。また、「人の数」と「間の数」の関係にも注目させ、図を用いてきまりを見つけ、きまりを活用できるよさを味わわせたい。

本時では、2mおきに並んだ7人の間の長さを求める。答えを導き出すために、実際に7人で並んだり、人形を使ったりして考える場や、場面の様子を把握するために問題に沿ったアニメーションを自由に視聴し確認できる場を用意する。児童は前時で学んだ○の図をかいたり、人形を使って考えたりと様々な方法で間の長さを求めるだろう。また、児童に学習の手引き書を渡し、手引き書を活動の手がかりにして、自ら学習に取り組めるようにする。児童が自分で計画を立てながら学習を進める中で、気がついた考えを図や式に表わし、それを使って説明する活動に繋げていく。

本単元を通して、児童が具体物や半具体物を使った経験から、○などの図を使って考えることのよさを理解できるようにしたい。そして、立式に至った根拠や答えが表す意味を自分の言葉で説明する表現力、さらに、自ら学ぶ力を伸ばしたい。

## 4 単元計画 2時間（本時2/2時間目）

段階 (時間)	子供の学習活動	教師の支援
1	<u>間に何人いるのか説明できるかな。</u> ・直線上に並んだ人の順序や間にいる人の数を求める。	・具体物や半具体物を使って考えたり、図をかいたりするためのヒントカードを用意する。 ・活動の見通しをたてることのできる学習手引き書を用意する。
2(本時)	<u>両端の人の間の長さは何mかな。</u> ・直線上に並んだ、両端の人（木）の間の距離を求める。	

## 5 本時の学習指導

### (1) 目標

一列に並んだ人の数やその間隔について、図を使って考え、両端の長さを求めることができる。

(思考力、判断力、表現力等)

### (2) 目標に迫るための手立て

答えを求めたり、自分の考えを図や式で表したりできるように、4つの場（実際に並んで考える場、人形を並べて考える場、図をかくヒントカードを見る場、問題場面の把握ができる場）を用意する。

(3) 展開

段階	児童の活動	教師の活動
つかむ (5)	<p>1 (は) 問題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>7人が、友だちと2mずつはなれて1列に並びます。両はしの間は何mですか？</p> </div> <p>2 本時の課題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;"> <p>両はしの間長さは何mかな</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場面把握するため、問題に合う映像を提示する。</li> <li>・「この問題は何を聞かれていますか」と発問し、「両端の人の間の長さです」という意見をめあてに繋げる。</li> <li>・学習手引書を配布する。</li> </ul>
深める (35)	<p>3 方法の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に一列に並んで考えよう。</li> <li>・人形を使って考えよう。</li> <li>・○を使って図をかいてみよう。</li> <li>・式を使って考えよう。</li> </ul> <p>4 (く) 色々な方法で答えを出した後、自分の考えをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・答えは12mになりそうだ。</li> <li>・どんな図をかくと、説明しやすいかな。</li> <li>・式は<math>2 \times 7</math>かな。<math>2 \times 6</math>かな。</li> </ul> <p>5 (ね) わかったことを共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なんで<math>2 \times 6</math>で求められるの？</li> <li>・間の数は人の数より1少ないね。</li> <li>・言葉の式で表せないかな。</li> </ul> <p>6 適用題に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・○○さんがかいていた図を使ってみよう。</li> <li>・きまりを使えばできそうだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目指すレベルを決めるように指示する。 (答えがわかる。説明できる。きまりを見つける。)</li> <li>・答えを見つける方法の見通しをもたせるため、前時の学習の様子を振り返る。</li> <li>・図や式で考えるための場を紹介する。 ★実際に2mおきに並んで考えられる場(渡り廊下) ★人形を並べて考えることができる場(教室後方) ★図をかくためのヒントカード(教室前方) ★場面把握ができる映像を見る場(大型テレビ)</li> <li>・学習手引書をもとに、活動するように指示する。</li> <li>・1つの方法だけでなく、ほかの方法でも答えは同じになるか確かめるように助言する。</li> <li>・早く終わった児童には、スペシャル問題を考えるように指示する。</li> <li>・「人の数」と「間の数」の関係にきまりがないか、言葉の式に表せないか、考えるように助言する。</li> <li>・ノートに書いた図や式を見せながら、自分の考えを説明するように助言する。</li> <li>・式が<math>2 \times 6</math>で本当に合っているのか尋ねる。</li> <li>・「人の数」と「間の数」にどんな関係があるか尋ねる。</li> <li>・児童のかいた図をいくつか紹介し、どの図が一番簡単で分かりやすいか尋ねる。</li> <li>・図を書いたり、きまりを使ったりして考えている児童を称賛する。</li> <li>・困っている児童には、人の数と間の数のきまりが使えないか助言する。</li> <li>・できた児童は集まって、説明し合うように指示する。</li> </ul>
広げる (5)	<p>7 (つ) 振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「間の数」は「人の数-1」になると気付いたので、計算で求められるとわかった。</li> <li>・図を使うと相手に説明しやすいと思った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時でわかったことや、誰の意見で納得したのかを書くように指示する。</li> <li>・「人の数」、「間の数」、「図」というキーワードを使って振り返っている児童を指名し、本時のまとめとする。</li> </ul>

(4) 評価

- ・人の数や間の数を図や式を使って表し、両端の人の間の長さを求めることができたか。

(活動4、5、6の様子、活動7の振り返りから)

## 学習の手引き書

『目指すレベル』・・・

を目指すぞ!!

『やることリスト』

レベル	やること	できたら チェック!
★	【答えがわかる】  _____m	<input type="checkbox"/>
★★	【図に表すことができる】	<input type="checkbox"/>
★★★	【式を立てることができる】  式) _____	<input type="checkbox"/>
★★★★	【図や式を使って、答えを説明することができる】 ※2人に説明して、サインをもらおう 一人目 <input style="width: 100px; height: 60px; border: 1px solid black;" type="text"/> 二人目 <input style="width: 100px; height: 60px; border: 1px solid black;" type="text"/>	<input type="checkbox"/>
<p>➡全部できたら、スペシャル問題にチャレンジ!! (★★★★★)</p>		

※まずは一人でやってみよう。

※一人でできない時は、だれかと協力しよう。

※たのまれたら、いっしょにやってあげよう。

※話す時は『ひそひそ声』で話そう。ほかの人のじゃまをしません。